

# 千代田区新エネルギービジョン

## 〈概要版〉

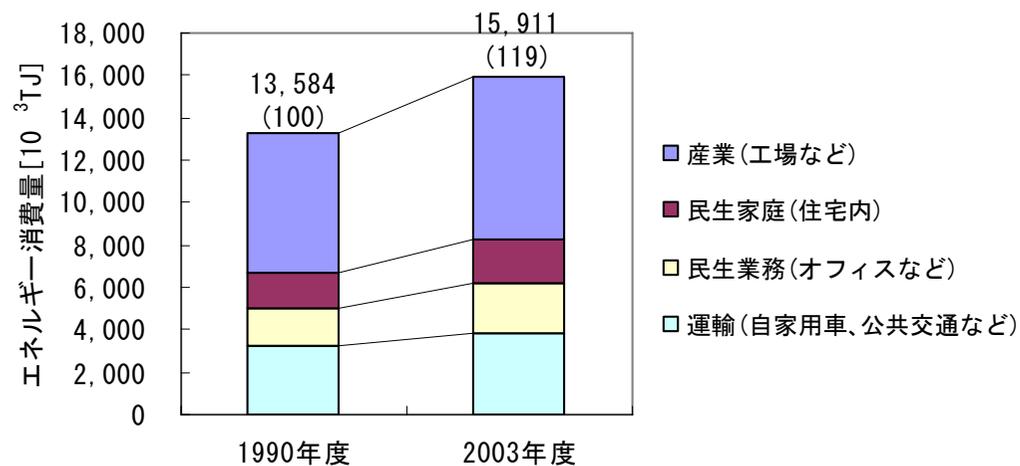


平成18年5月 千代田区

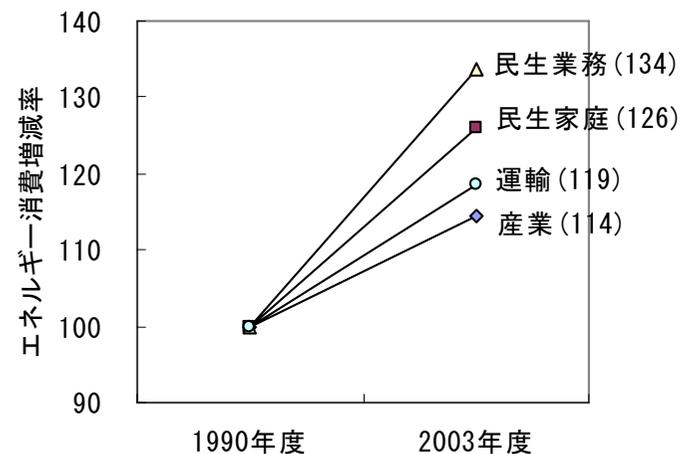


## 1. 増え続ける日本のエネルギー消費量

- 日本全体のエネルギー消費量は増加しており、2003年度のエネルギー消費量は1990年度比で約1.2倍になっています。
- 特に民生業務（オフィスや商業ビルなど）、民生家庭でのエネルギー消費量が大きく増加しています。



日本のエネルギー消費量の推移  
(1990年度→2003年度)

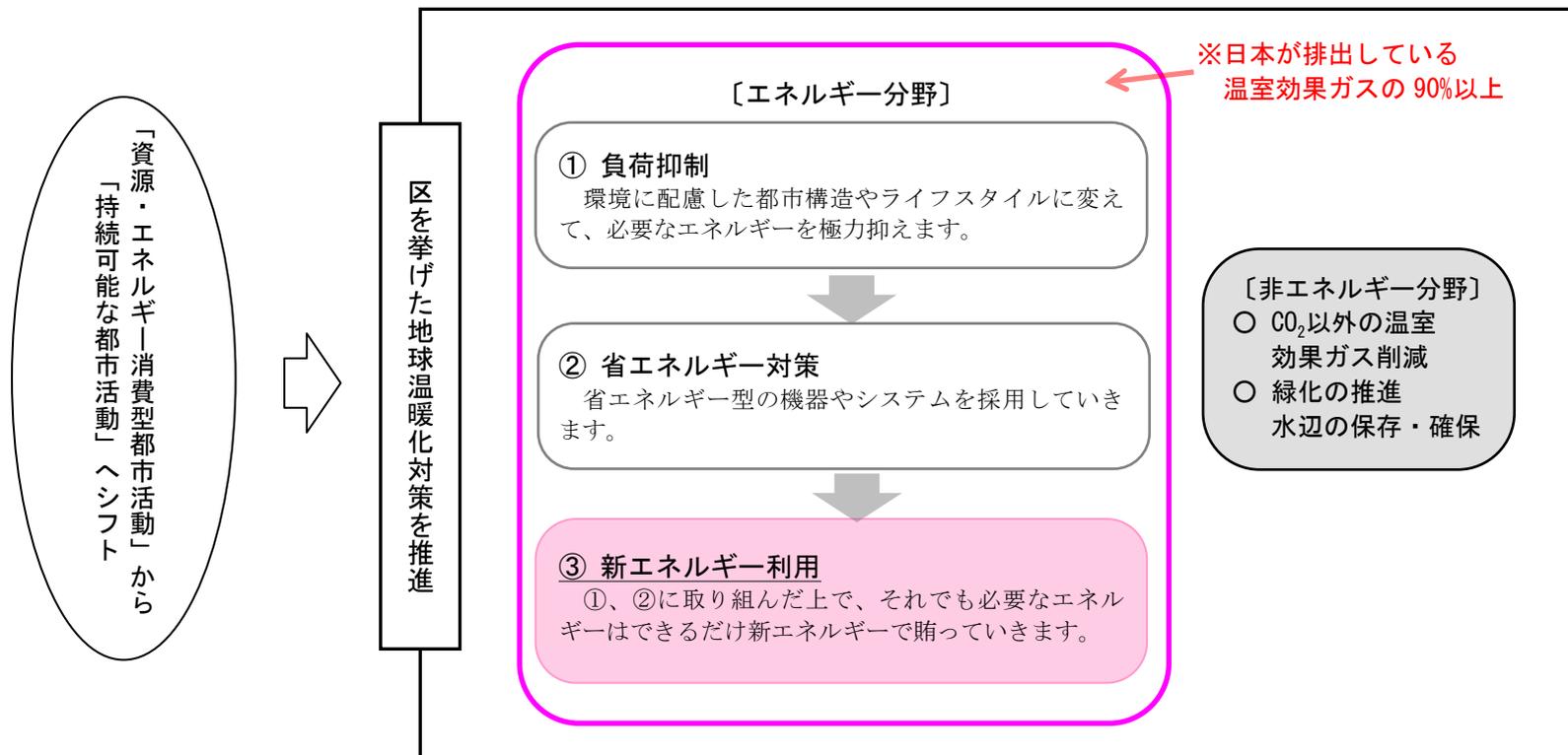


部門別エネルギー消費増減率  
(1990年度=100)

- エネルギー消費によって排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの増加は、地球温暖化の原因であり、世界でも深刻な問題になっています。

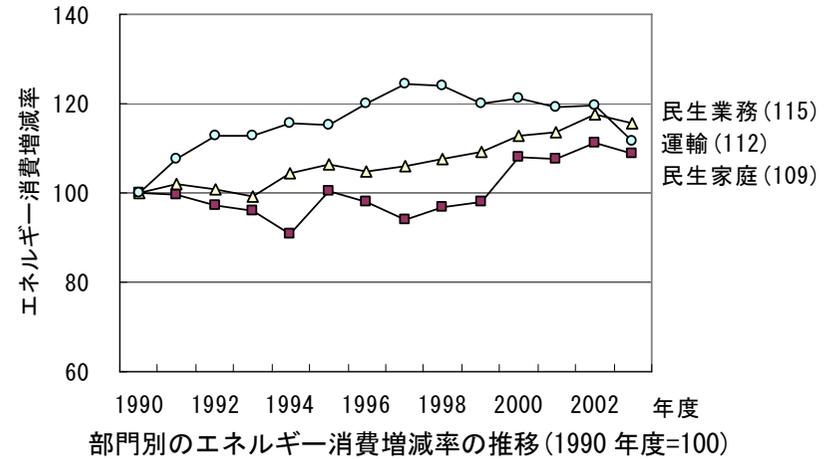
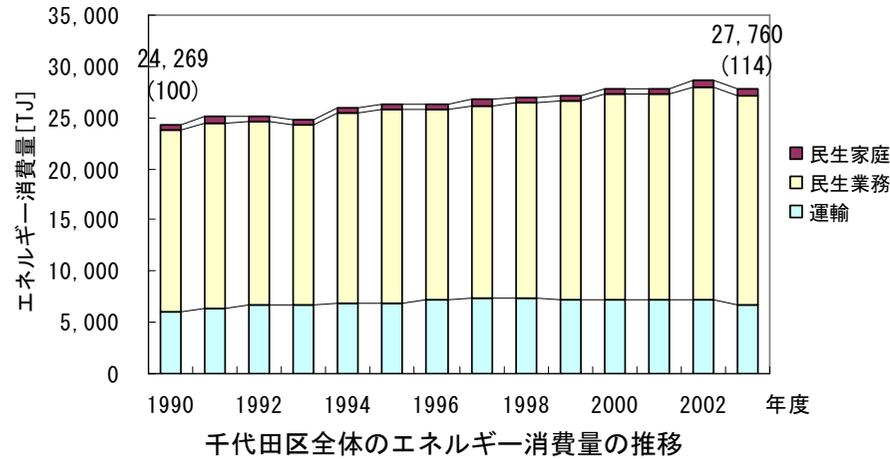
## 2. 千代田区新エネルギービジョンの目的

- 日本が排出している温室効果ガスの90%以上が化石燃料等のエネルギー消費によるもので、地球温暖化防止のためにも特にエネルギー分野の対策が重要です。
- エネルギー分野の対策は、「負荷抑制」、「省エネルギー対策」、「新エネルギー利用」の3ステップで取り組んでいきます。
- このビジョンでは、3つめのステップ「新エネルギー利用」についてまとめたものです。

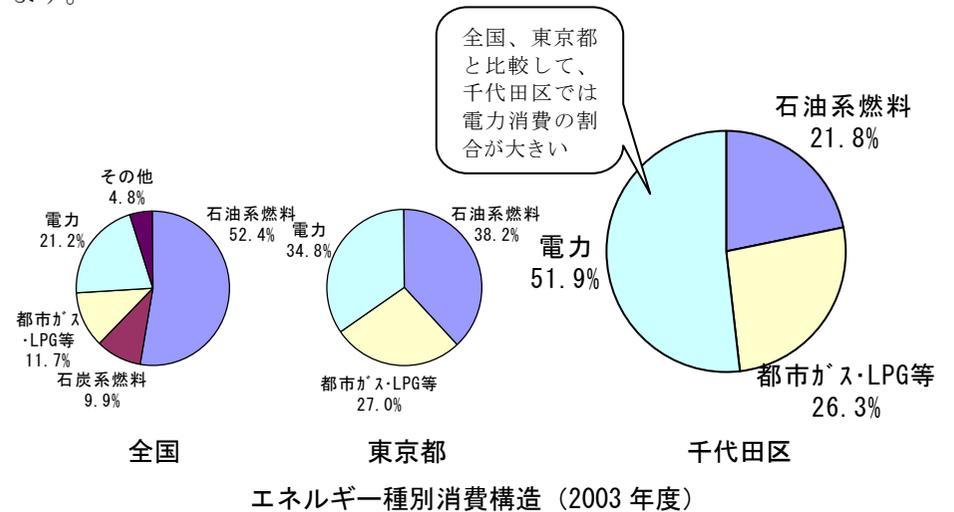
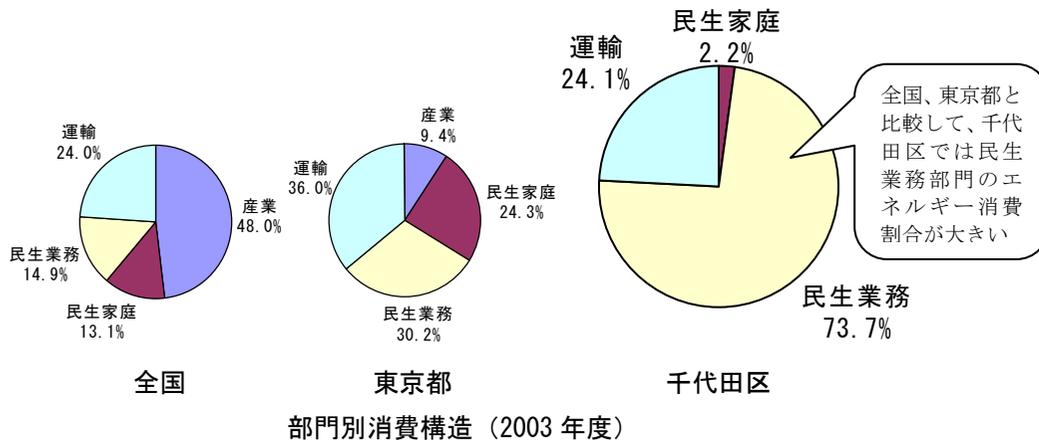


### 3. 千代田区のエネルギー消費量は増え続けています

- 千代田区全体のエネルギー消費量は増加傾向にあり、1990年度を100とすると2003年度は114まで増加しています。
- 部門別にみると、民生、運輸のエネルギー消費量が増加しており、特に民生業務は1990年度を100とすると2003年度は115まで増加しています。



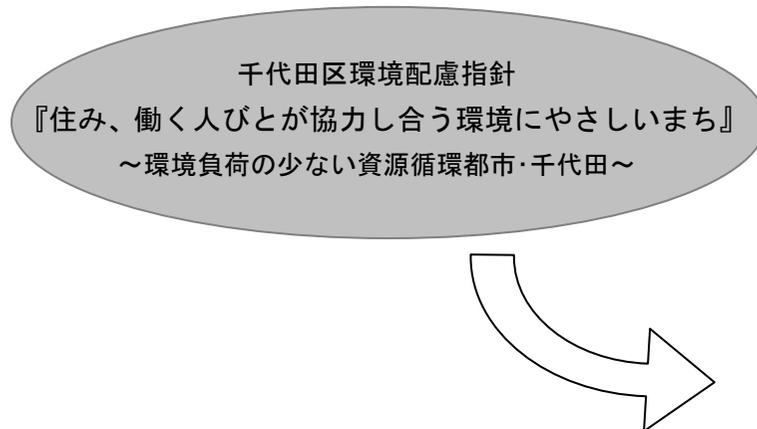
- 2003年度のエネルギー消費の部門別内訳は、民生業務が73.7%を占めています。
- エネルギー種別では電力が51.9%を占めています。



※ 端数四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。

#### 4. 新エネルギー取り組みの基本方針

千代田区環境配慮指針の「望ましい環境像」を踏まえて、新エネルギービジョンでは3つの基本方針を掲げて新エネルギー導入に取り組みます。



#### 千代田区新エネルギービジョン 3つの基本方針

##### ① 地域資源である再生可能エネルギーの有効活用

千代田区の地域資源である太陽エネルギー、バイオマスエネルギー、温度差エネルギーなどの再生可能エネルギーを積極的に活用して、化石燃料を代替し、地球温暖化の防止を推進します。

##### ② 成長を続ける業務集積区でのエネルギー・環境対策の実践

業務部門のエネルギー消費割合は、区全体の約7割を占めており、業務集積は現在も成長を続けています。エネルギー・環境対策の視点から業務集積区への新エネルギー導入を推進し、資源循環型都市の構築を目指します。

##### ③ 東京／日本の中心地におけるショーケース化

千代田区は、日本および東京の経済活動の中心となっており、仕事、買い物、観光など区外から多くの人びとが来訪します。区全体を新エネルギーのショーケースと見立て、区民、来訪者の誰もがエネルギー・環境問題の「原因と対策」を知り、学び、行動へつながるきっかけづくりを行っていきます。

## 5. 千代田区での利用が期待される新エネルギー

千代田区では、以下のような新エネルギー利用が期待され、導入を推進していきます。

### <供給サイド>

#### ① 太陽エネルギー（太陽光発電／太陽熱利用）

- 業務・商業ビル屋上の未利用スペースや壁面への太陽光パネルの設置を推進します。
- 給湯や温熱利用のある建物には、太陽熱利用の設置を推進します。

#### ② 風力発電

- 風速が十分でないことや設置スペースがないなどの問題があるため、小型機種をシンボリックに利用します。

#### ③ バイオマスエネルギー

- 区内で排出している一般廃棄物の約20%が生ごみで、一日に約63tの生ごみが発生しています。生ごみの分別排出、回収システムの検討を進め、区内の資源化率向上を目指します。

#### ④ 温度差エネルギー（下水、地下水・地下湧水）

- 区内の下水道幹線を流れている下水やJR・地下鉄のトンネルから湧き出している湧水、地下水等の利用を検討していきます。

### <需要サイド>

#### ⑤ 天然ガスコージェネレーション

- 熱の使用量が多い病院、福祉施設、ホテル、商業ビルなどでは、天然ガスコージェネレーションの導入効果が期待できます。これらの施設を中心に、導入推進を検討していきます。

#### ⑥ 燃料電池

- 家庭用の小型機種などは、実用化に向けた開発が進んでいます。中小店舗ビルや家庭用での導入を、今後の開発動向を踏まえて検討していきます。

#### ⑦ クリーンエネルギー自動車

- 千代田区では、運輸の環境負荷は通過交通による割合が大きいので、グリーン配送システムの利用など、効率的な交通システムづくりの中での普及拡大を目指します。
- 業務用車両や家庭用自家用車の買い換え時に、クリーンエネルギー自動車を採用されるように啓発活動を進めます。

## 6. 地域別の取り組み方針

地域別に以下のような取り組み方針を立てて、新エネルギー導入に取り組んでいきます。

### ① 富士見地区・再開発を契機とした先進モデルづくり

環境教育／防災に役立つ新エネルギー利用に取り組めます。

### 住宅での新エネ普及・啓発

新エネルギー活用型・環境共生住宅の普及に取り組めます。  
建築家／ハウスメーカーと協働し、都心住宅版のガイドライン作成などを検討します。

### 緑と新エネルギー

日本の代表的なみどり空間での、緑と新エネルギー融合に取り組めます。

### 官庁街での新エネルギー

国と協働して、日本の中枢での取組をデモンストレーションします。  
千代田区から、温暖化対策／ヒートアイランド対策含めた新エネ対策の提案も行っています。

### 秋葉原駅周辺の情報発信

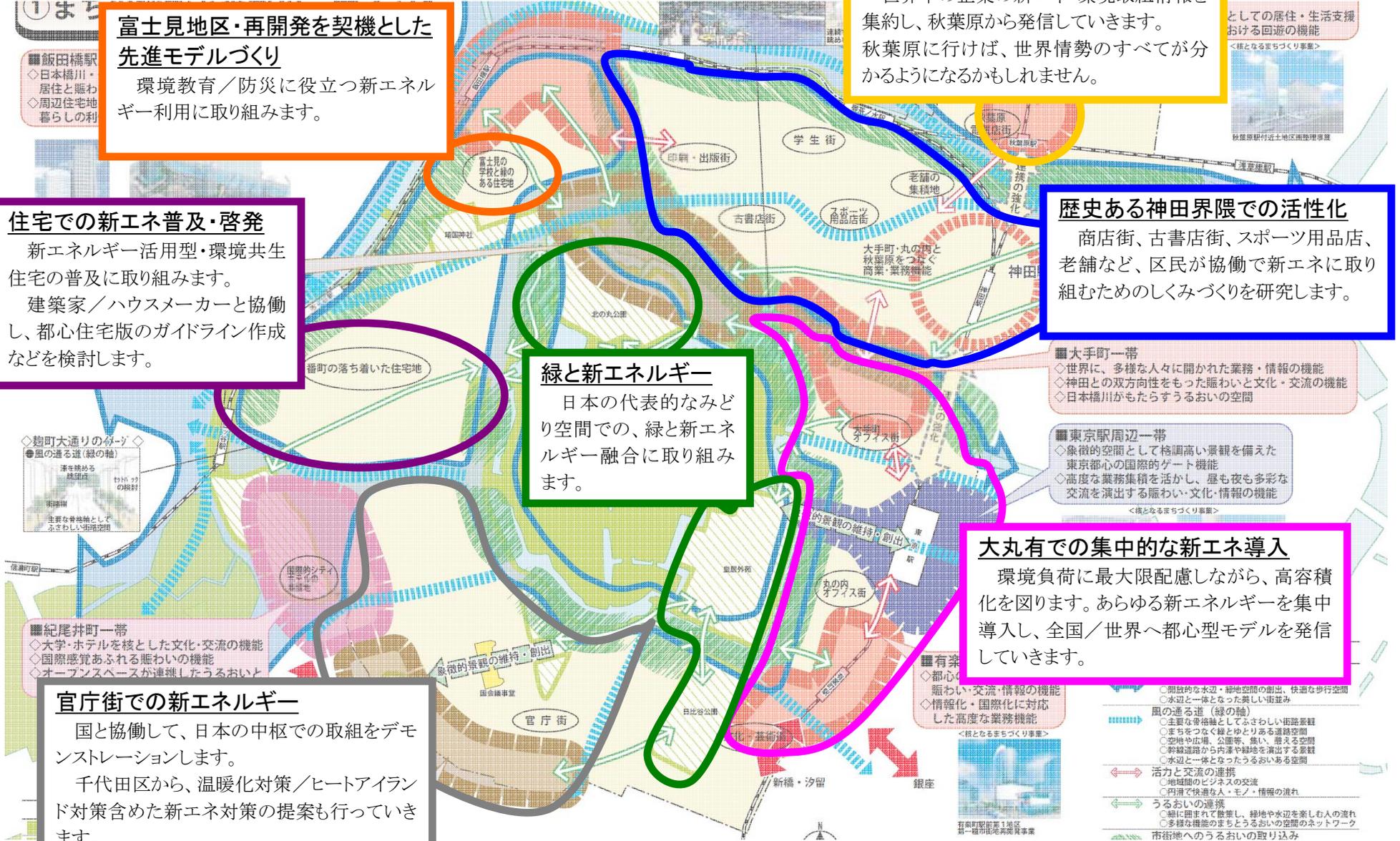
世界中の企業の新エネ・環境取組情報を集約し、秋葉原から発信していきます。  
秋葉原に行けば、世界情勢のすべてが分かるようになるかもしれません。

### 歴史ある神田界限での活性化

商店街、古書店街、スポーツ用品店、老舗など、区民が協働で新エネに取り組むためのしくみづくりを研究します。

### 大丸有での集中的な新エネ導入

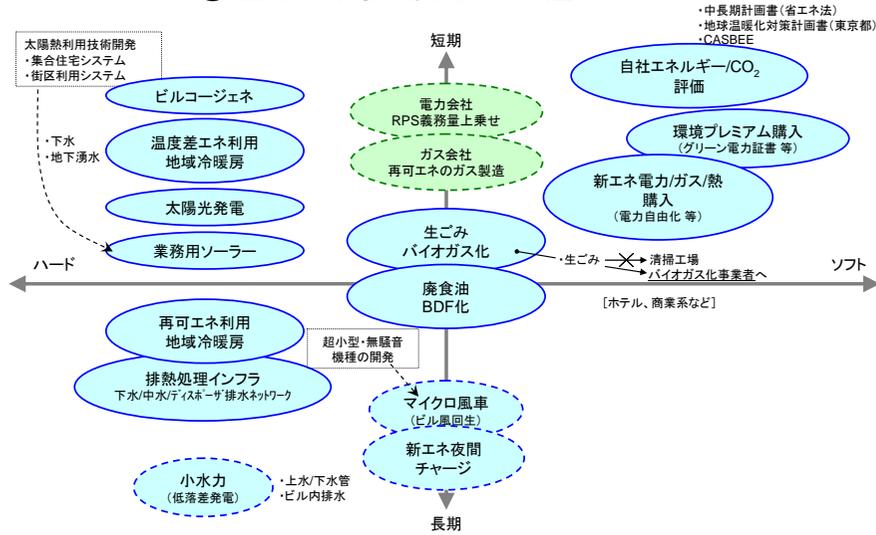
環境負荷に最大限配慮しながら、高容積化を図ります。あらゆる新エネルギーを集中導入し、全国／世界へ都心型モデルを発信していきます。



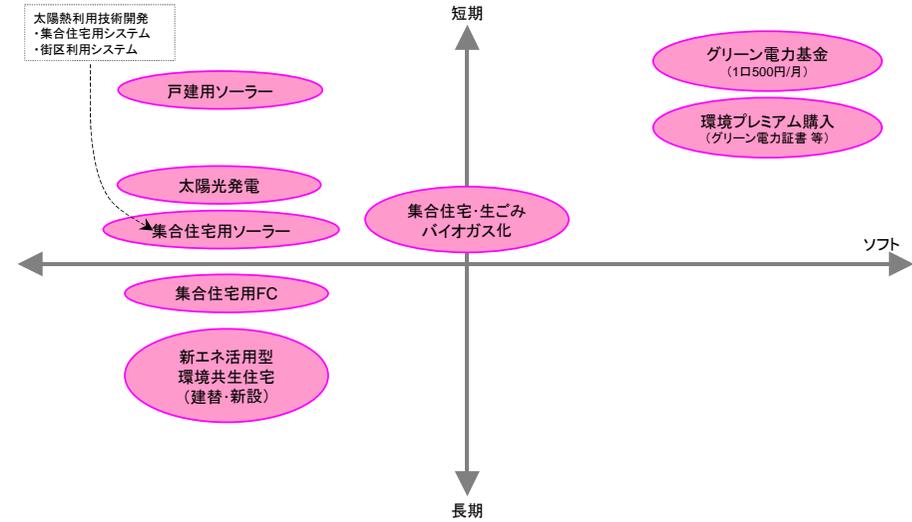
## 7. 部門別の取り組みメニュー

部門別では、以下のような新エネルギー導入の取り組みメニューが考えられます。

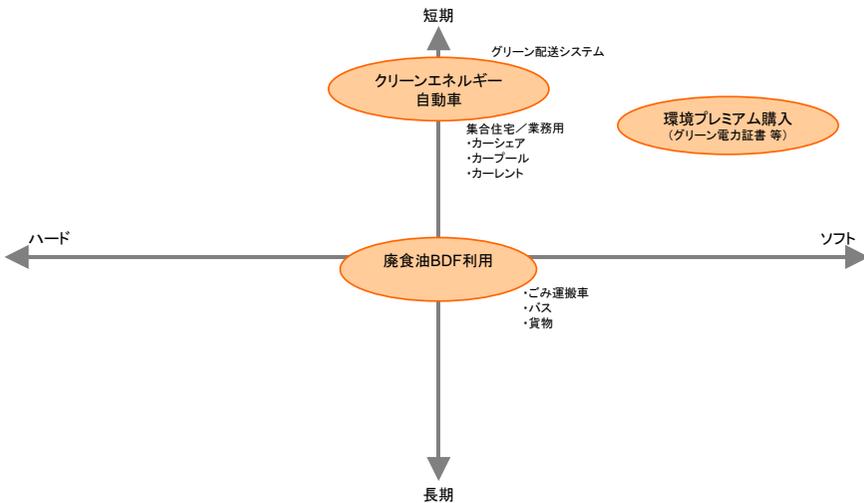
### ①産業・業務部門の取組メニュー



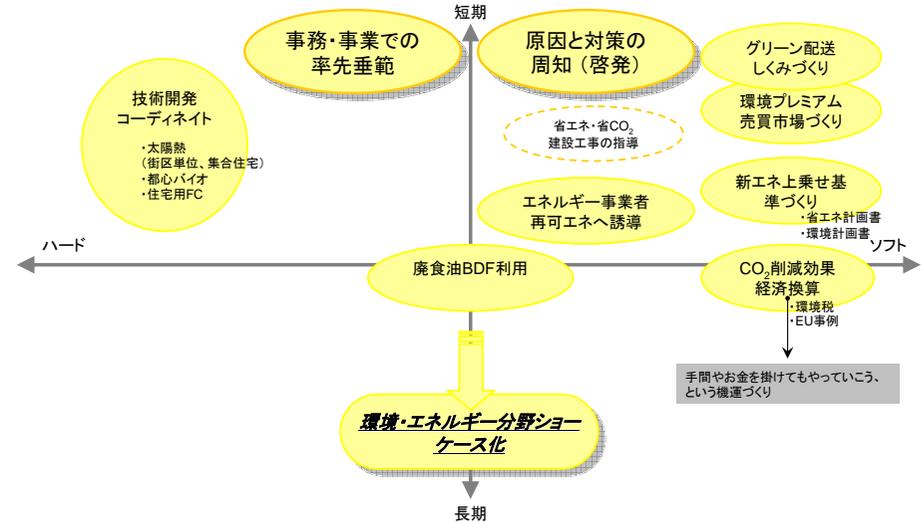
### ②家庭部門の取組メニュー



### ③運輸部門の取組メニュー

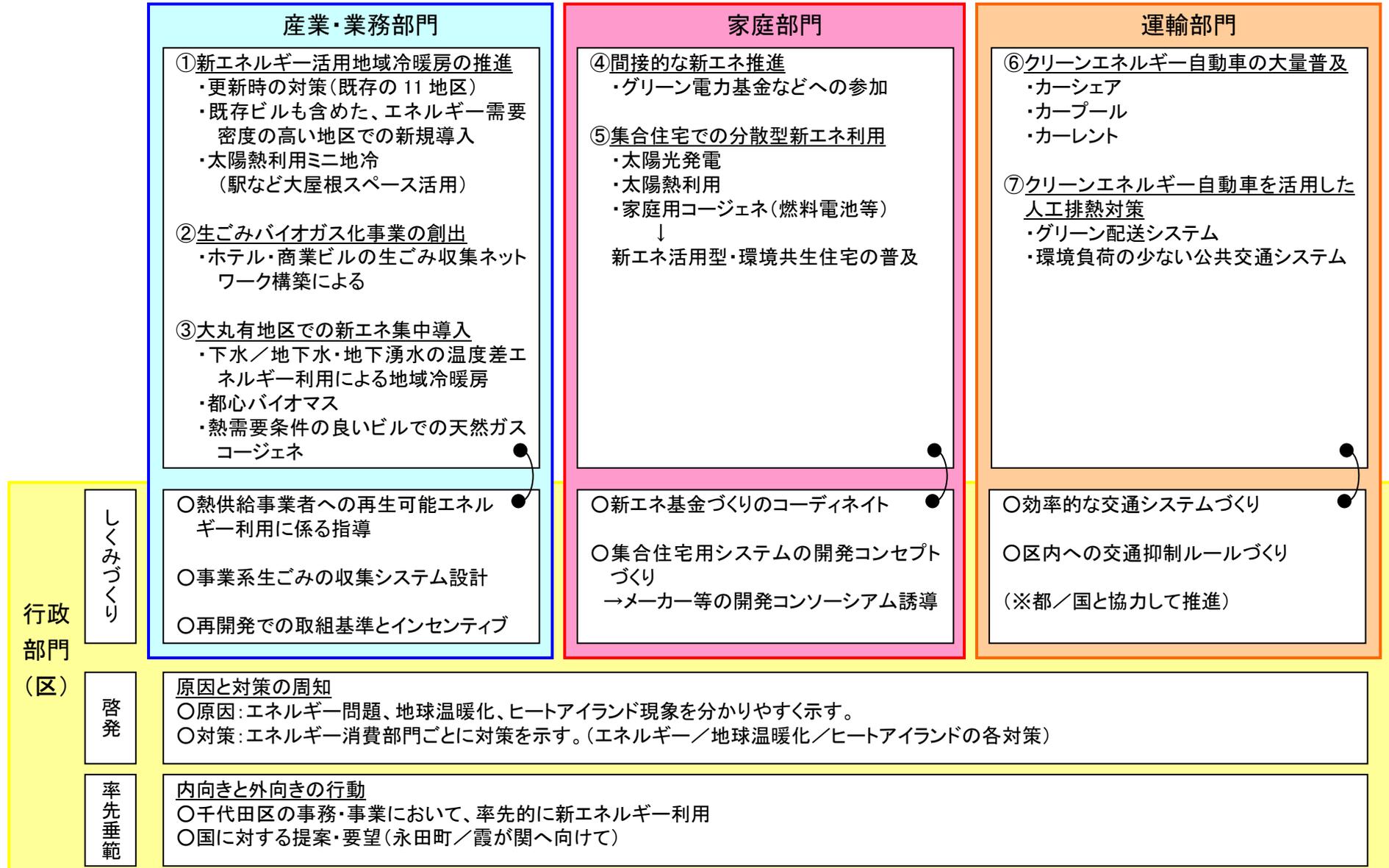


### ④行政部門(区)の取組メニュー



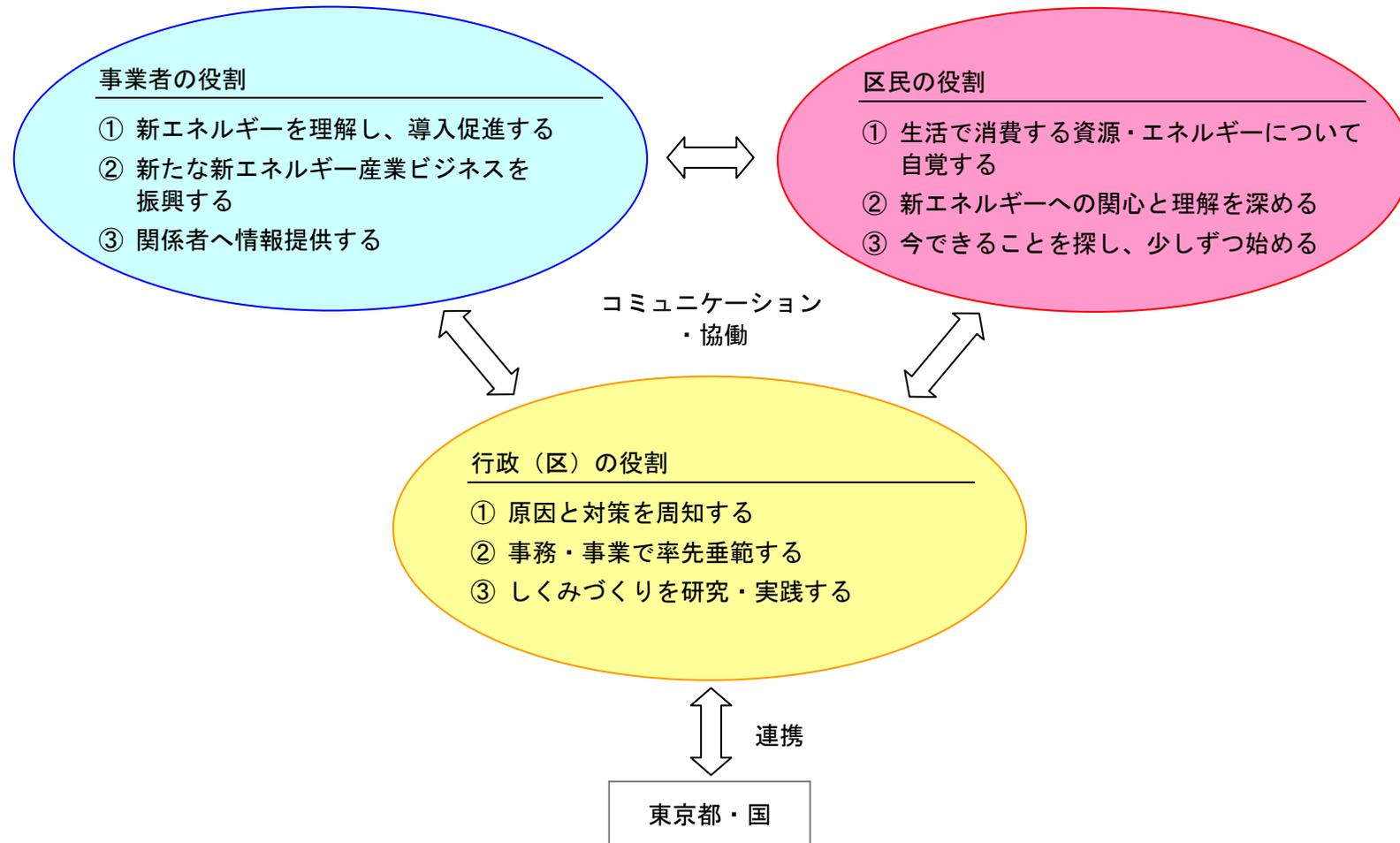
## 8. 重点テーマ

各部門の取り組みメニューから、7つのテーマに重点的に取り組んでいきます。



## 9. ビジョンの具体化に向けて

新エネルギービジョンを具体化し、推進していくためには、事業者、区民、行政がそれぞれの役割を果たし、かつ、互いに協働して新エネルギー導入プロジェクトや普及促進活動に積極的に参加していくことが重要です。



発行・編集

千代田区環境土木部生活環境課

〒102-8688

千代田区九段南1-6-11

TEL 03-3264-2111

FAX 03-3262-0123



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

製本には、再生紙を使用しています。